

科目名	ビジネス情報	単位数	3	必修選択	必修
教科書	ビジネス情報（東京法令出版）				
副教材	PASSPORT2022 3級ビジネス情報編(とうほう) PASSPORT2022 2級ビジネス情報編(とうほう)				

教科・科目の内容

- ①オフィス業務と情報通信ネットワーク
- ②表計算ソフトウェアの活用
- ③データベースソフトウェアの活用
- ④ソフトウェアを活用したシステム開発

日常生活や将来とのつながり

情報化社会の今日、家庭でも普及しているパソコンを使いこなすことは社会人として必須条件である。本校のビジネス探究科では、1年次に履修した「社会と情報」において情報モラルや情報機器の活用方法についての基本を学び、3年次のビジネス情報では管理・分析・活用する知識や技術を習得する。そして、コンピュータを活用して業務を合理化・自動化するなど、エンドユーザーコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てることを目標とする。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

ビジネスにおいてコンピュータを利用して有用な情報を導き出すための技法を学び、表の検索や文字列の加工など応用的な活用方法を習得できるようにする。また、教科書例題を説明し、練習問題を解くことによって、コンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワークに関する知識を身につける。定期テスト等で理解度を確認する。授業でやりきれなかった問題等は、放課後の自学自習時や家庭学習等でこなす努力が必要となる。

到達目標

- ①業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークの導入と運用及びデータの保護を取り扱い、業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技能を習得する。
- ②ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技能を習得する。
- ③ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を身につける。

評価の観点(評価方法)

- ①関心・意欲・態度(行動観察、提出物)

ビジネスの諸活動において、情報を主体的、積極的に活用し、将来、職場における情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。
- ②思考・判断・表現(行動観察、実技問題、提出物・定期試験)

適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考力・判断力・表現力を身につけている。
- ③技能(実技問題、提出物)

ビジネスにおける情報活用に必要な、情報の分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身につけている。
- ④知識・理解(実技問題、定期試験)

ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名	副教材名
3年	ビジネス情報	3	ビジネス情報（東京法令出版）	PASSPORT2022 3級ビジネス情報編(とうほう) PASSPORT2022 2級ビジネス情報編(とうほう)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	3. 表計算ソフトウェアの活用 ※通年学習 (1) ビジネス計算 (2) データの集計・分析 (3) オペレーションズリサーチ (4) 手続きの自動化	表計算ソフトウェアを活用して、さまざまなビジネスの情報を管理、分析し、業務に役立つ合理化や自動化についての知識、技能を身につける。 ワークシート間の集計やグループ集計、クロス集計などの技法を理解する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	1. オフィス業務と情報通信ネットワーク (1) 業務の情報化	ビジネスにおけるICT活用の基本的な知識を習得させ、ビジネスと情報の関係について理解する。	○	○	○	○
	※ 期末試験			○	○	○
二学期	1. オフィス業務と情報通信ネットワーク (2) 情報通信ネットワークの導入と運用 (3) データの保護	ネットワークの構築についての基礎的な知識から、構築に必要なネットワークの設定方法、サーバの管理やセキュリティ管理などの技術を習得する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	3. データベースソフトウェアの活用 (1) ビジネスとデータベース (2) データベース作成 (3) SQL	身近なテーマをもとに、リレーショナル型データベースを活用して、データベースの検索機能についての知識や技術、データベースを操作するためのSQL言語を習得する。	○	○	○	○
	※ 期末試験			○	○	○
三学期	4. ソフトウェアを活用したシステム開発 (1) システム開発の基礎 (2) アルゴリズムの基礎 (3) 表計算ソフトウェアによる開発 (4) データベースソフトウェアによる開発	ビジネスに関連した情報システムの開発について、基礎的な知識と技術を習得する。表計算ソフトウェアのプログラミング機能を使用し、マクロ機能を用いた開発の基礎を習得する。	○	○	○	○

備考	表計算ソフトウェアの活用は1年を通じて学習します。 「情報処理」(本校では未開講)の内容も副教材を使用して学習します。 全商情報処理検定ビジネス情報部門2級を受験することができます。(希望者のみ)
----	--